

第 2 回 代表者研修会報告

日時：平成 28 年 10 月 13 日（木）13:00～

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

司会：池ヶ谷 副会長

1 あいさつ

(1) 静岡県養護教諭研究会 山崎 永子 会長

本日も御多忙の中、県下、各地から代表理事の先生方にお集まりいただきありがとうございます。

9 月に入り、数多くの台風の発生で、気温や湿度は高く、彼岸を過ぎても、真夏日や熱帯夜があったり、急に気温が下がったりと、体調を崩しがちですが、児童生徒はもちろん、先生方におかれましても、御自愛いただきしたいと思います。

さて、去る 8 月 8 日の夏季研修会では、皆様のお力添えのお陰で、今年度も、無事開催できましたこと、まずもって、お礼申しあげます。ありがとうございました。

研修会の内容は、内田良先生の「スポーツにケガはつきものか？『見える化活動』の成果報告」の御講演でした。会員の皆様からは、「講演のタイトルを見た時から期待していた。期待した以上の講演だった」や「私たちにできることは、小さな『見える化』を日々意識し、繰り返し、未然防止に努めていくための働きかけをしていくことだと思う。ひらくということにもつながると思う。大きなことが起きてからではなく、そうなる前にできることをケガという視点だけでなく考えていきたい」との感想をいただきました。今年度の研究テーマ「養護教諭の職務をひらき・つなぎ・深めよう。専門性とマネジメント力の発揮」を認識していただいた感想に心を打たれました。

私たち役員にとっては、この夏季研修会は大きな山場でもありました。理事の皆様をはじめ、静岡市の応援があってこそ開催できたと思っております。御協力をありがとうございました。

また、8 月 23 日には、終日でしたが、小・中・高の交流会を開催いたしました。大変充実した研修会となりました。夏休みの終盤にもかかわらず、多くの理事の皆様に参加いただき、重ね重ね御礼申し上げます。ありがとうございました。

今後は、冬季研修会に向けての準備を進めていきます。養護教諭の専門性を深めることを目的に開催します。

会員の皆様の研修要望に沿えるよう、「救急処置」を中心とした内容で計画しておりますので、ぜひ、多くの会員の皆様に参加していただきたいと思っております。

この内容についても御検討いただき、会員の皆様にとって有意義な冬季研修会になることを願っております。よろしくお願いいたします。

本日は、御多忙の中、県教育委員会 指導主事 松本先生、県学校保健会の事務局長 山下先生に御出席いただきました。よろしくお願いいたします。

短い時間ではありますが、御審議の程よろしくお願いいたします。

(2) 静岡県教育委員会健康体育課健康安全班 松本 美千代 指導主事

夏の養護教諭講習会につきましては、先生方に御協力をいただきまして開催することができま

した。ありがとうございます。また、後ほど所管事項にてお話しさせていただきますので、よろしく申し上げます。

(3) 静岡県学校保健会 山下 雅也 事務局長

日頃は、養護教諭の先生方のおまとめになる立場ということで、県学校保健会にお力添えをいただきまして改めてお礼申し上げます。

① 第 55 回 静岡県学校保健大会 伊東大会について (別紙)

今年度の開催は、伊東市学校保健会が主催の中心となって、開催に向けた準備をいただいています。

11月10日、伊東市観光会館にて開催を予定しております。

今年度の実践発表につきましても、伊東大会推進委員会研究部養護教員部と栄養職員部の合同での発表となっています。参加していただける方は、楽しみにしていただきたいと思っております。実践発表につきましても、地区の会合等でお伝えいただくようお願いいたします。

② 功労者、優良学校等の表彰について (別紙)

11月10日の伊東市大会にて表彰いたします。

- ・学校保健功労者表彰 99名 うち養護教諭 33名
- ・健康優良学校 健康推進校 10校、学校歯科保健優良学校 19校、学校環境衛生活動優良学校 19校

健康推進学校の実地調査を県指導主事とともに9月のはじめに実施し、その結果の受賞です。健康推進校で共通するのは、養護教諭が頑張っておられ、各校の健康課題を明確にされて、健康課題に即した活動をされていたということでございました。

③ 平成 28 年度中学校・高等学校生徒保健委員活動発表会について (別紙)

今年度は、12月26日(月)に、あざれあで予定されています。養護教諭研究会の方から、「生徒保健委員研究発表会」という名称を『活動発表会』にしたらどうか、また、時期が11月末の開催でしたので、養護教諭と生徒が参加しにくいことというお話をいただいて、昨年度から、『生徒保健委員活動発表会』と「研究」から『活動』に変えまして、敷居を低くして、募集を募らせていただきました。また、時期も12月の冬休みに入った直後に変更し、おかげをもちまして、今年度は参加校が中学校4校、高校4校とバランスよく参加していただきました。ありがとうございました。

生徒保健委員活動発表会を開催するだけでなく、毎年、活動集録を作りまして中学校に配布しております。生徒保健委員の資質向上、生徒と教師相互による保健委員会活動の向上のために、ぜひ活動発表会を継続していきたいと考えています。比較的参加しやすい時期に開催されますので、ぜひ多くの御参加をお願いいたします。開催通知につきましては10月の末に、各地区の学校保健会を通して各中学校へ届くように送付させていただきます。

(4) 顧問校長 青野 雅和 先生

本年度、養護教諭研究会が山崎会長の下、新体制となって、順調に進んでいると伺っております。今後ともよろしく申し上げます。

昨年は、「静岡大学養護教諭養成の設立を祝う会」が大きな行事でございましたが、今年度は、やはり政令市の権限移譲の件がいよいよ間近に迫って参りました。特に、浜松市の動向が注目されています。県校長会の方では当面所属をして浜松市の方々と一緒にやっていく方針が出されましたが、静教研では新聞でも報道されているとおり、平成 31 年から独立する予定であるということを伺っています。養護教諭研究会などのその他の任意団体の動向は不明ではありますが、浜松市や静岡市の方々からお話を伺って、大きな時代の波にどう対応していったらよいか検討していくこととなります。いずれの状況においても一緒に静岡県の子どもたちの健康安全を担っていくために活動していくことに変わりはありませんので、これからもよろしく申し上げます。

2 静岡県教育委員会所管事項

県教育委員会健康体育課健康安全班 松本 美千代 指導主事 (別紙)

先生方におかれましては、日頃から健康体育課に御支援・御協力ありがとうございます。夏の養護教員講習会につきましても多大な御協力をいただきましてありがとうございました。

1 感染症の対応について

(1) インフルエンザ・ノロウイルス等の対応

- ・流行が予想される場合や施設・設備の消毒の方法を確認したい場合等、校長先生の指示を受けた上で学校医や保健所、市町の所管課等に相談して、指導・助言を受けることが必要です。
- ・インフルエンザによる学級閉鎖の報告につきましては、9月12日付の文書でお知らせしました「インフルエンザによる学級閉鎖報告（施設用）」にて報告をお願いしたい。記入例もありますので、参考にしてください。

(2) 児童生徒だけでなく、教職員も感染症から身を守り、児童生徒に感染が及ばないようにするため、高い予防意識を持つ必要があります。機会を捉えていただいて先生方からも働きかけをお願いします。

(3) 麻しんについて

この夏、関西、関東で広域的に患者が発生したことから県内でも注意が必要です。昨年度の麻しん予防接種の接種率ですが、小学校入学前の1年間に当たる第2期が92.7%と全国平均の92.9%をわずかですが低くなっています。各学校におかれましては、就学時健康診断や小学校入学前の説明会などの機会を生かしていただいて、麻しん予防についても保護者に対して情報提供などをしていただけるとありがたいと思っております。

2 学校保健安全法施行規則一部改正等について

この4月から法改正後初めての健康診断が行われました。まずは、健康診断の円滑な実施のために御尽力いただきました養護教諭をはじめ、校長先生、その他の先生への御配慮に感謝いたします。ありがとうございます。文部科学省からの児童生徒等の健康診断実施調査への御協力もありがとうございます。文科省の調査結果がきましたら、何らかの形でお届けしたいと思っております。

そして、来年度の健康診断に向けておさえていただきたいこととして3点お願いします。

(1) 学校における健康診断の役割

- ・ 学校における健康診断は、スクリーニングであること
- ・ 健康診断の結果から健康課題を明らかにして健康教育に役立てること

(2) 四肢の状態の検査

学業を行うのに支障があるような疾病・異常等をスクリーニングするものであり、単に体が硬い、バランスがとれないといった理由だけで受診につながることはないようお願いいたします。

(3) 成長曲線の活用

今年度はデータの入力期間として、来年度から本格実施できるように、市町体制で活用体制を整えるようお願いいたします。

3 災害・事故への対応

(1) 「学校事故対応に関する指針」について

校長先生を中心に学校全体で対応することですが養護教諭にも大きく関わってくることで、文部科学省健康教育調査官や安全教育調査官の講話を聞く機会があり、今回の所管とさせていただきます。資料として概要版をつけましたので、御覧ください。

指針では、学校保健安全法第29条に基づき、危機管理マニュアル等を策定し、訓練を行い、見直しをすることが求められています。例えば、訓練時には計画立案の段階から参画したり、資料提供したりする等、積極的に関わるようにしていただくとありがたいです。訓練の内容としては、校内の事故統計や事例を基にした安全な環境の整備に関すること、心肺蘇生法、AEDの訓練、エピペン®の使い方を含むアレルギー対応など保健室の情報や養護教諭の知見や技能が生かされる内容もありますのでよろしくをお願いします。

また、事故発生時には、出張等で管理職や担当の職員が不在の場合でも組織的な対応が行えるように、事故発生時の指揮命令者を明確にするとともに、事故発生時の役割と内容を全教職員が共通理解しておくことが必要です。

4 教育職員免許法認定講習について

県教育委員会では、養護教諭一種免許状取得に向けての認定講習を行っています。必要な単位を修得し、資質向上を図る目的があります。2年間連続して受講することで、一種免許取得に必要な単位10単位をすべて習得することができます。実態調査からも取得を希望している先生方が多くいらっしゃいますので、機会を捉えて先生方からも情報提供をお願いします。

5 平成28年度学校保健及び学校安全表彰（文部科学大臣表彰）について

うれしいお知らせがあります。9月27日付けで、2名の先生と3つの学校が文部科学大臣表彰を受賞しました。ここに御報告いたします。

特に、静岡市立東中学校の平山先生につきましては、みなさまがその御功績をご存じのことと思います。主だったことだけでも県教育委員会指導主事、静岡市教育委員会指導主事を務められ、その後も静岡県養護教諭研究会の役員として、事務局、副会長、会長、顧問をお務めになられま

した。そして、現在も静岡市養護教諭研究会会長をお務めになっ
ています。その間には、全国養護教諭研究大会、各種学会・協
議会で実践を全国に広められ、静岡県の学校保健並びに養護
教諭全体のレベルアップにお力を尽くしてくださいました。そ
の功績により、この度の受賞となりました。ここに御報告さ
せていただきます。

また、学校といたしましては、静岡県立富士高等学校、浜松市立笠井中学校、藤枝市立朝比奈第一小学校が受賞しました。富士高校は、初のモデル校としてがん教育に取り組みました。学校が主体となり、地域の医療関係者、行政が一体となったがん教育を推進し、健康と命の大切さを学ぶ教育へと発展させたことが評価されました。笠井中学校は、自分と相手の命を大切にすることを軸に、校区で心の日を設定し道徳や研修部、特別活動との連携から自己肯定感やコミュニケーション力の育成を図るなど心の健康を基盤とする健康教育を系統的に実践していることが評価されました。朝比奈第一小学校は、小規模校の特性を生かして、児童一人一人へのきめ細やかな健康教育を組織的に行っていること、児童が自己を振り返り、主体的に健康づくりが推進できる教育活動が系統的に営まれていることが評価されました。併せて、お祝いを申し上げます。

3 議事

(1) 平成 28 年度静岡県養護教諭夏季研究会の反省 (別紙) 朝妻幹事 (承認)

理事の先生方につきましては、当日の会の運営に御協力いただきありがとうございました。

アンケート結果から、講演については、全体の 98.7%が「とても参考になった。」・「参考になった。」と回答していた。ほとんどの方が、素晴らしい講演だったと回答していた。

また、静岡県養護教諭研究会の研修が養護教諭の力量アップのための貴重な機会となっているという意見が多数あった。

(2) 平成 28 年度静岡県養護教諭冬季研修会 (別紙) 山崎会長 (承認)

主 旨：養護教諭の専門性を高め、実践的な研修をし、学校現場につなげ、深めていく

開催日：平成 28 年 12 月 2 日 (金) 9 : 30 ~ 16 : 10

会 場：あざれあ

内 容：午前 講演「小児がん医療を通してがん教育を考える」

講師 静岡県立こども病院 輸血管理室長 堀越 泰雄 氏

午後 テーマ「養護教諭の専門性を高め、実践的な研修を深める」 四つの分科会

第 1 分科会 「小中学生の眼の健康」 静岡市 さくら眼科 松久 氏

第 2 分科会 「学校医と養護教諭のパートナーシップについて」

小山町 南寿堂医院 岩田 氏

第 3 分科会 「スポーツでの歯の障害と予防」

静岡市 尾崎歯科医院 尾崎 氏

第 4 分科会 「不登校予防を目指したピアサポート」

江之島高等学校 山口 氏

参加人数：200 名 (先着順)

申し込み：11 月 1 日 (火) ~ 10 日 (木) を募集期間とする。

委員会より開催文書が配布される FAX にて各自申し込む。

参加の可否は、11月24日ごろまでに連絡をしていく予定である。

その他：現在、計画中のため、変更する場合もある。

緊急時の連絡体制を提示していく。

(3) 各委員会の報告

① 会誌たちばな 59号経過報告 (別紙)

竹内委員長

- ・配本 平成28年12月初旬発送予定
- ・1冊 1,400円
- ・各地区からの注文メ切り 11月11日(金)までに FAX 又はメールで(竹内)へ

② 実践事例集15について (別紙)

池ヶ谷委員長

- ・事例提供者の報告を11月18日(金)までにメールで(池ヶ谷)へ
- ・関係機関及び講師一覧の提出 平成29年1月10日までにメールで(池ヶ谷)へ
掲載の可否の確認をしてください。否の場合でもお名前をあげてください。

③ 調査研究「実態調査」の結果報告 (別紙)

増田委員長

- ・たちばなの59号にもダイジェスト版が載っている。実態調査のデータを使いたい学校は、実態調査データ使用願を御提出ください。
- ・今後はパソコンでのデータ入力に移行していくよう作業を進めている。今年度はテスト的に行う予定である。
- ・エラーチェックにかからないつけ間違いがあるので、忙しい中ですが注意をお願いしたい。

④ ホームページアップ状況 (別紙)

橋本委員長

- ・地区の中で、保健だよりや保健行事について学校のホームページに載せている方がいましたら、編集委員の方へお知らせください。(編集委員の名前は「きんもくせい」99号に記載)
- ・地区の方の中で掲示物に熱心に取り組んでいて写真を撮りためている方がいましたら、理事の先生から、副会長の橋本までお知らせください。
- ・静岡県学校保健会のホームページもできあがっているので研究会のホームページからリンクするようにしたいと考えている。
- ・訂正 ホームページ管理規則第2条のプロバイダーは「さくらインターネットサービス」に変更された。→承認

(4) 平成28年度静岡県養護教諭研究会活動反省について (別紙)

高井事務局

- ・理事は「地区の集計表」にまとめて 平成29年1月20日(金)までに メールで事務局(高井)へ
- ・活動反省-5の用紙についてはメール送信の際、訂正後のものを添付して送付する。

(5) 各種研究大会参加報告 (別紙)

① 全国養護教諭研究大会 (別紙)

竹内副会長

* 来年度からは全国学校保健安全大会に吸収される。

② 関東甲信越静学校保健大会（別紙） 高井事務局

③ 中部ブロック代表者会 土屋顧問

* 来年度からは中部ブロック代表者研修会となる。

④ 退職養護教諭のつどいくみどり会（別紙） 山崎会長

(6) 会報「きんもくせい」について（別紙） 富田書記

100号まで皆様の協力を受けて無事に発行されている。平成17年までの「きんもくせい」のデータの保存がないので、地区でお持ちの方がいないか呼びかけをお願いします。

(7) 会員名簿について（別紙） 中澤書記

- ・複数配置等会員数の変更があった場合と兼務発令が出ました学校につきましては書記（中澤）へ報告してください。
- ・来年度の名簿作成にあたって、こちらから配布したUSBがパソコンにさせない地区の確認。磐田、裾野 その他の地区でもありましたら書記の中澤へ連絡してください。

(8) 会計について（別紙） 辻野会計

- ・会誌「たちばな59号」の代金（1冊 1400円）を各地区で取りまとめて1月20日（金）までに郵便局より納入してください。領収書の形式報告書を提出してください。なるべく領収書の枚数を減らせる形で協力をお願いしたい。
- ・研究会より2月の全養連への参加をお願いされた方は、申し込みはご自分で行ってください。参加費もご自分で支払ってください。旅費は研究会で負担します。旅費のお渡しは当日になるので印鑑を持参してください。

(9) 全国養護教諭連絡協議会アンケート依頼について（別紙） 山崎会長

- ・2年に一度の調査で、地区ごとに人数の割り当てがある。
12月2日（金）までに事務局へ対象者の名前の報告をお願いしたい。
- ・「瑞星10号」の発刊と販売について（別紙）

(10) 各地区から

- ・権限移譲に伴う政令市の現状報告（静岡地区・浜松地区）
- ・各地区からの事前の質問・検討事項（別紙）
（東豆・小笠地区よりの質問） 健康診断票の記載方法は？

<松本指導主事より>

- ・岩崎健康教育調査官の話によると、健康診断票の記載については基本的な考え方は、今までと変わりはない。学校医の先生に言われたことを書き、欄に書ききれないことは備考欄を利用するとよい。
- ・健康診断票への記載の基本は各市町教育委員会で相談して統一すればよい。
（<参考例>未受診や診断名が明確でない場合、「~の疑い」と書く方法もある。）

（湖西地区より質問） 健康診断票のパソコン入力・印刷は？

健康診断票をパソコンで印刷している地区の使用ソフト、校医印の有無、毎年印刷する富士市、三島市の例

(小笠・志太地区よりの質問) 肥満度の求め方は？

- ・成長曲線の肥満度は、日比式か？村田式か？夏の研修会で成長曲線に関しては村田式という話があった。

<松本指導主事より>

- ・本来はどちらが良い悪いではないが、配布された CD は村田式

(静岡地区よりの質問) 成長曲線を小学校から中学校へどのように送っているか？

志太地区 内田洋行の公務パソコンで入力しデータで中学へ送る。

掛川市 「えがお」で小学校は全て入力を今年度中に行い、データ化して中学へ送ろうと進めている。

(小笠地区よりの質問) 成長曲線の活用方法は？

- ・成長曲線の活用について現在マニュアルも来ておらず、地区でどのようにすればよいか？

<松本指導主事より>

- ・今年度はデータの入力期間ということで捉えていただきたい。県教委で検討する。

(11) その他

(高井事務局より)

- ・冬季研の申し込みについては、冬季研修 3 は公立学校用、冬季研修 4 はその他の校種用の申し込み用紙である。
- ・2 の会誌たちばな 59 号の申し込みは FAX 又は E メールです。
- ・全養連の会報が届いたら理事の方に送るので地区への配布をお願いしたい。